

リンキングを味方にしよう!

【Part1 操作する前のポイント】

今月号は、編物には欠かせないとじ・はぎの過程を手速く、簡単に行え、そのうえ仕上がりがキレイなリンキングの使い方を紹介しましょう。

1. セットのしかた



糸取り棒を差し込みます

コードをリンキングにつなぎます
電源を入れます

「FRONT」を手前におきます

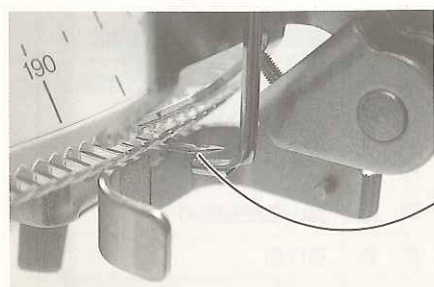
2. セットレバー・プリーの操作

プリー…手で動かしてみる時に矢印方向に回します
※プリーを止める位置は▼印に合わせます
(フック針が一番中に引き込まれた位置)



セットレバー…クラウンと歯車のかみ合わせ
OFF…はずれた時(プリーの●を▼に合わせる)
クラウンを自由に手で回せます
SET…かみ合った時
コントローラーを踏むとモーターが動きます

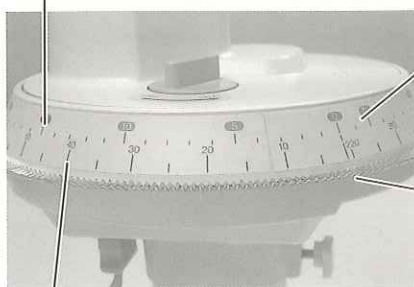
3. フック針について



フック針…この針で縫います。プリーを回すと針が出てきます

4. ポイント針と目盛

「cm」を示します。(ポイント針の根元の寸法)

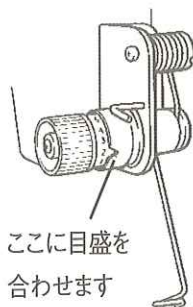


クラウン…220本のポイント針がついています

ポイント針
ここに、とじ・はぎをする編地をかけます

針数を示します

5. テンションダイヤル・編地・縫い糸の目安



ここに目盛を合わせます

糸の種類	目数ゲージ (メリヤス編み)	テンションダイヤル
細タイプ	34~40	5~7
中細タイプ	29~33	3~5
太タイプ	24~28	1~3
※	24以下	1

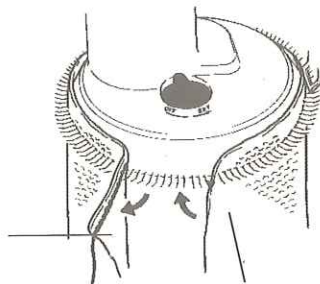
6. ロックノブの操作



約240°回ります スタンド

ロックノブをゆるめると、スタンドより上の部分全体が回ります

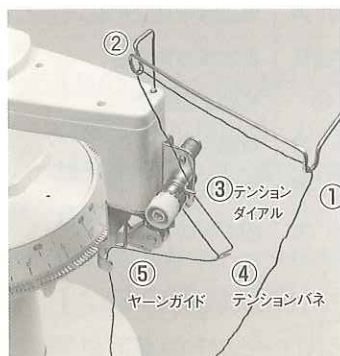
編地が長くて一度にかけられない時



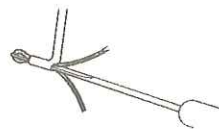
縫い終わった側をはずしていきます

続けてかけた時、上部が回転するとかけやすい

7. 縫い糸を通す



・プリーを▼位置に合わせます・セットレバー「OFF」
・番号順に通します
・最後の糸ガイドは糸通しを使います⑤



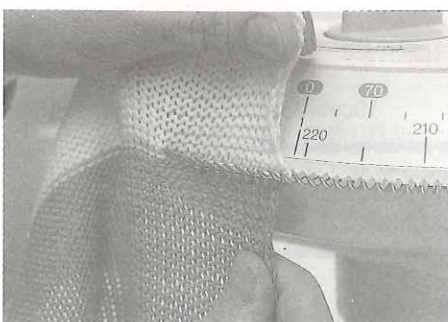
リンクングを味方にしよう!

【Part2 操作のポイント】

前号に続き、とじ・はぎに便利なリンクングの使い方。作品づくりのプロセスに沿って使い方のポイントを紹介します。

1 編地のかけ方

【目をかける場合】…1針に1目をかけます。



①0の位置のポイント針に編地の右端の目からかけてゆきます。

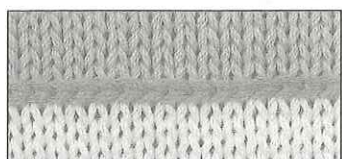
②かけた後は編地をポイント針の根元によせます。

〈ポイント〉・両手で軽く引っぱって刺します。
・細かい目の時は横に伸ばして刺します。

【かけ方による縫い目の様子】



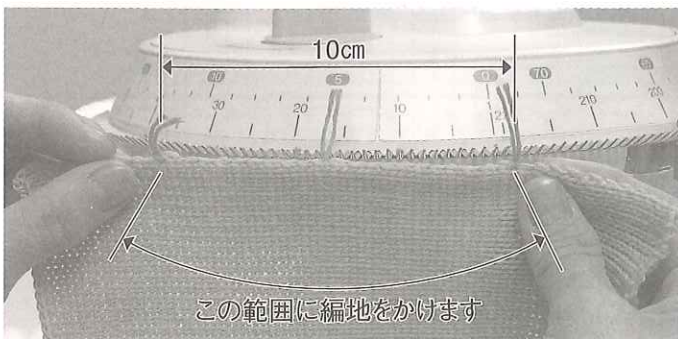
手前側



リンクング側

⑨ 表と裏で縫い目が違うのでどちらを表側にするかを決めてから刺します。

【段をかける場合】…寸法でかけます。

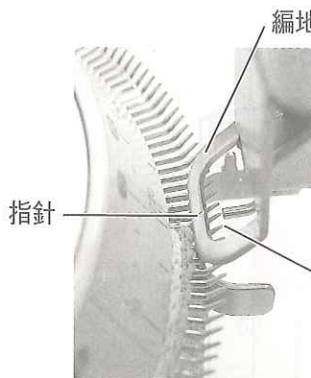


①1目～1目半のところを刺します。

〈ポイント〉・長い場合は寸法を決めて糸印をしておきます。

(例)5cm・10cm間隔

2 縫い始めます



- ①縫い始めに合わせます。
- ②セットレバーを“SET”
- ③縫い糸を通します。
- ④コントローラーを踏みます。

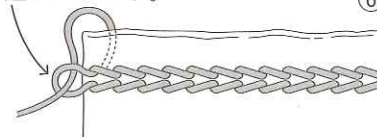
0の針(編地のかけ始めの針)が指針より、1本手前にくるように合わせます。

3 縫い終わりの処理



- ①縫い終わった後、更に2～3cm縫います。
- ②プーリーをVに合わせセットレバーを“off”
- ③編地押えを手前に起こします。
- ④糸を切ります。
- ⑤クラウンを進行方向に進め編地をはずします。
- ⑥余分のくさり編みをほどこし最後の目に通します。

ほどけないように最後の目に通しておきます。



4 作品を作るためのテクニック

【目と目を中表にはぐ場合】



⊕ 表を手前にして1目ずつポイント針にかけます。

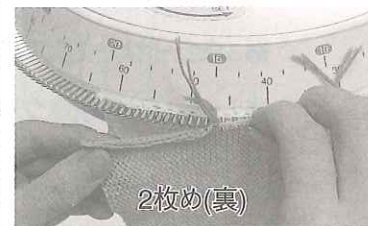


⊖ 裏を手前にして重ねてかけてとじます。

【段と段を中表にはぐ場合】

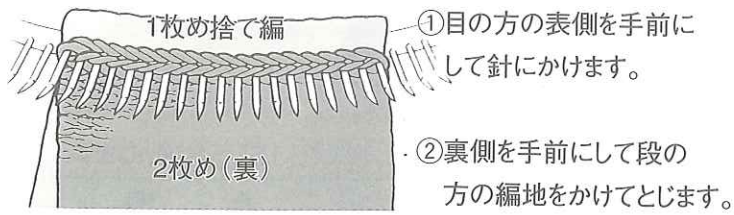


表を手前にしてポイント針にかけます。

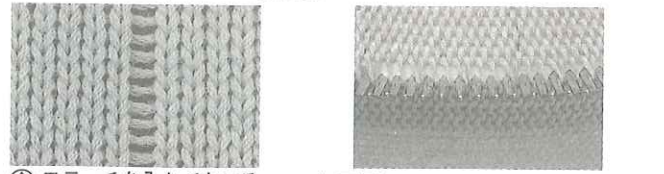


裏を手前にして重ねてかけてとじます。

〔段と目を中表にはぐ場合〕…前立てやえりつけに使います。〔ステッチを入れる場合〕



- ①目の方の表側を手前にして針にかけます。
- ②裏側を手前にして段の方の編地をかけてとじます。

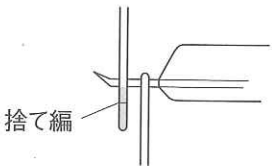


- ①ステッチを入れるところを針ぬきして編みます。
- ②ステッチを入れる側を向こう側にして編地をかけます。

〔段と目をつき合わせてはぐ場合〕



- ①はぐ目数に表を手前にして段の方を針にかけます。
- ②目の方は表を手前にして捨て編みを下に向けて1目ずつかけてはぎます。



〔はさみづけをする場合〕…えりや前立て等の縁どりに使います

ゴム編みのはさみづけ



- ①はさむ方の編地の裏を手前にして下側の目を拾います。



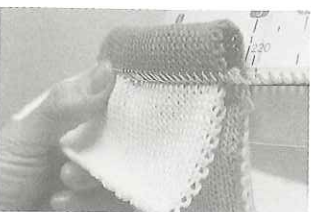
- ①ゴム編みの表にする方を手前にし、向こう側の目を拾います。



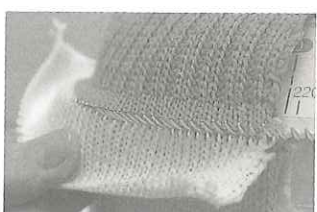
- ②はさまれる編地を針にかけます。



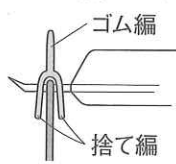
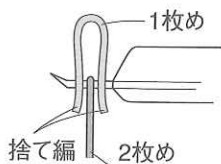
- ②はさまれる編地を針にかけます。



- ③1枚めの編地を手前に折って、捨て編との境の目をかけます。



- ③ゴム編みのもう一方の目を上からかぶせるように針にかけます。



〔太糸で編んだ編地の場合〕

(目数ゲージが15目~18目の場合)



(半目ずつ刺す)



(1目に2本ずつ刺す)

(目数ゲージが18目~24目の場合)

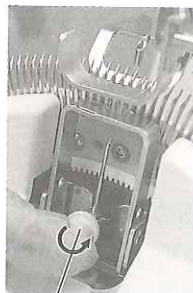


(2目に3本ずつ刺す)

- 〔注〕ゲージが粗くなると1目ずつ刺したのではつれるので上図の様にします。
- 縫い糸は共糸でなく中細位を使います。

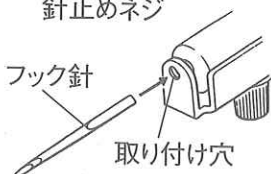
5 こんな時には

〔フック針をとり換える場合〕



- ①針止めネジをゆるめます。
- ②真直ぐ外側に引出します。
- ③針の取付け穴が見えるようにプーリーを回します。
- ④取付け穴に針の断面の形を合わせ真直ぐに押し込みネジを止めます。

針止めネジ



〈ポイント〉
針が見えるように逆にするとういす。